

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

令和7年3月/8日

(宛先)岡崎市長

団体名 食アレスマイルネット

代表者 栗田 洋子

構成員 8 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

本会は食物アレルギー啓発絵本を使った食物アレルギー啓発活動を行うことにより、みんなと一緒の物が食べられる子供たちの精神的負担を軽くすること、苦しんでいる人々が生きやすい社会作りを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
R6年 7月3日・9月18日 10月13日	悠紀の里	ゆきファミリーパーク 参加団体・大学 当日ブース来場者	多数	ゆきファミリーパークに参加し、ブース 出展、ブースでの読み聞かせ、ステージ読 み聞かせを行うことにも参加団体と交流した。
R6年 11月16日	りぶら	ブース(和参) 来場者	かなり 多数	「みんなの声で作る! おかきんぞう会議2024」 に出展、ブースでの読み聞かせをメインに 活動を紹介、多くの方が足を運んだ。
R6年 12月13日	美合小学校	4年生児童、先生	51人	美合小学校4年生に食物アレルギーのこと を知ってもらう授業を行った。
R7年 2月8日	おらさきかん	講演会 来場者	16人	いまの状況を知ってもらう、実際の 読み聞かせを聞いてもらうことで 絵本で伝える意味を感じてもらった。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

食物アレルギー啓発絵本を使って講演会、イベント、授業で読み聞かせを行うことで
食物アレルギー患者が抱えている問題を知らせ、気持ちを少しも理解できる人を増や
すことに繋がった。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

様々なご依頼をいただき、様々な年代の方に実際の読み聞かせを聞いていただき、
食物アレルギーについて知っていただくことで、苦しんでいる人々の生きやすい社会づくりに繋がっている。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。